

熱 時 の 第	第 2	熱の移動と時間に対する変化について理解させる。	1. 温度のちがうものをふれ合わせた場合の温度の変化 2. 温度計で温度がはかれるわけ。	1. 日常生活経験の想起による話し合いをさせる。 ○ 麦茶を冷やすとき。 ○ 牛乳を暖めるとき。 2. 温度計内部の液体が熱のために体積の増減をし、ガラス管内を上下して温度がはかれることを話し合う。		中	温度計
	第 3	ガラスや金属の熱の移動について理解させる。	1. ガラスと金属を同条件で加熱した場合の相違 ○ 実験の予想 ○ 実験 ○ 結果の発表	1. 日常生活経験により実験結果を予想させる。 ○ どちらが熱くなるか。 ○ その伝わりかたは。 ○ ノートさせる。―― 2. 金属棒とガラス棒を端から加熱し観察させる。 3. 結果を発表させる。	ノートの内容をつかみ個別に指導 ○ 実験の準備 ○ グループ指導	中	ガラス棒 金属棒 アルコールランプ ろうそく マッチ ワセリン
	第	熱が温度の高いものから低いものへ順次移動していくことは伝導	1. 金属棒の熱移動についての話し合い。	1. 前時の学習で金属棒を加熱したときのことを想起させて予想させる。		中	

イ 細目標

(4) 本時のねらいと教授過程

① 本時のねらい

ア 主目標

湯と水をふれ合わせて温度の動きを調べ、熱は高いものから低いものへ移ることを理解させる。

(ア) 温度の高いものと低いものをふれ合わせておくとどうなるかの予想を立てることができる。

(イ) 湯と水をふれ合わせて温度の変化を調べることができる。

(ウ) 結果を表にまとめることができる。